

# スポーツへの取り組み

## FUJITSU SPORTS

FUJITSU SPORTSは、日本一・世界一を目指すことはもちろん、スポーツでしか味わえない感動を社員・地域・ファンと共に分かち合い、スポーツ文化を次の世代に繋ぐため、これまでにない新たな価値を生み出します。そして、健康で豊かな未来の実現に向け、FUJITSU SPORTSはこれからも挑戦し続けます。

### 1. 陸上競技部

1990年3月創部。バルセロナ1992オリンピックから7大会連続で日本代表選手を輩出。北京2008オリンピック男子4×100mリレーでは、塚原直貴選手と高平慎士選手が銀メダルを獲得。ロンドン2012オリンピック50km競歩では、森岡紘一郎選手が7位入賞。2015年3月、男子20km競歩にて鈴木雄介選手が世界記録を樹立。リオデジャネイロ2016オリンピックは4選手が出場し、男子棒高跳で澤野大地選手が7位に入賞。「ニューイヤー駅伝」では2000年、2009年に優勝。2008年にはJOCスポーツ賞「トップアスリートサポート賞」で優秀団体賞、2016年、2017年の2年連続で「実業団陸上 of The Year」の最優秀チーム賞となる「経団連会長杯」を受賞。2019年9月に行われたマラソングランドチャンピオンシップにて中村匠吾選手が優勝。さらに世界陸上競技選手権大会では男子50km競歩で鈴木雄介選手が優勝。現段階で、東京2020オリンピックでは、マラソンの中村匠吾選手、男子50km競歩の鈴木雄介選手、男子20km競歩の高橋英輝選手の3選手が代表に内定しています。

### 2. アメリカンフットボール部「フロンティアーズ」

1985年創部。2003年、2006年、2010年と東日本社会人選手権「パールボウル」優勝。2014年、創部30年目にして社会人選手権「JAPAN X BOWL」初優勝、同シーズン日本選手権「RICE BOWL」に初出場・初優勝し日本一の栄冠を獲得。2016年、2017年、2018年、2019年シーズンも優勝し4連覇を達成。2020年シーズンは5連覇に向け活動しており、人気・実力共にXリーグを代表するチームへと成長しています。

### 3. 女子バスケットボール部「レッドウェーブ」

1985年創部。2005年度から2007年度まで全日本総合選手権3連覇を達成。2007年度はWリーグでも初優勝、2冠を達成。2014年度、2015年度と2年連続でWリーグファイナルに進出し準優勝。リオデジャネイロ2016オリンピックではチームで初めて2選手が出場、8位入賞に貢献。2017年は全日本総合選手権で10年ぶりに決勝戦に進出し準優勝。2019年はWリーグ3位、町田瑠唯選手が3年連続4回目となるベスト5・アシスト王のW受賞。各世代の代表経験を持つ選手も多く、Wリーグを代表するチームとして、頂点を目指し活動しています。

### 4. 川崎フロンターレへの協賛

1997年、富士通サッカー部を母体としたプロサッカークラブ「川崎フロンターレ」を設立。2017年、2018年と明治安田生命J1リーグ優勝し2連覇を達成。2019年、5度目の挑戦でクラブ史上初となる2019 JリーグYBCルヴァンカップで初優勝。地元川崎市に根付いた地域密着型のクラブとしての活動を支援しています

#### 富士通は東京2020オリンピック・パラリンピックを応援しています

富士通は、国内最高水準のゴールドパートナーとして、競技運営に必要なアプリケーションやサービスを扱うためのサーバ、ストレージやサービスなどを通じて大会をサポートしていきます。

